



題字 初代会長青木貞元氏

発行所 新潟産業大学
 父 母 の 会 事 務 局
 〒945-1393 新潟県柏崎市輕井川4730
 ☎(0257) 24-6402
 FAX 22-8241

新潟産業大学「父母の会」の発展を願って

父母の会会長 東山 幸義



昨年はお当地では早くから、雪模様の日々でしたが、皆様には如何でしたでしょうか。日頃から「父母の会」にご理

解とご協力を頂き感謝申し上げます。今年度も、あと僅かとなりました。各支部に於かれましては、各地域に即した支部総会が活発になされたものと思います。新潟支部では、11月22日に30名弱の出席を頂いて総会ならびに懇親会を行いました。総会では小林健彦先生より「日本における災害対処の文化史」と題してご講演を頂きました。近年特に地球温暖化のせいでしょうか、今までにない局所的な大きな災害に見舞われております。これらを踏まえて、タイムリーな講演だったと思います。ご講演の内容から、日本はそれこそ有史以来、災害との戦いの歴史であったようです。それは今も規模は異なりますが続いております。学問は言うまでもなく知識を身に着け、社会に、世界に平和な住みやすい世の中を作り出すべく最高、最上の手段であり

ますが、究極は自身の人格の陶冶に寄与するものでなければならぬと思っております。今年ノーベル平和賞を受賞したパキスタンのマララさんもテロに屈せず、女性子供に学問を、学問こそが世界を変えるのだと訴えております。全くその通りだと思います。テロの手先になってるのは学校にも行けない貧しい子供が多いと聞いております。学問こそ、世界の闇を滅する最高、最上のものではないでしょうか。

当学は、学問の最高学府であり、学問を究めるなかで自身の人間をも磨きぬく。科学は両刃の刃でもあります。学問の知識に振り回されることなく、そこで培った智慧を大いに発揮し、世界の平和と安穩に寄与すべく有為な人材に、そして自身も自分らしく最高に人格の輝きを放つ人材へと育ててほしいと願っております。

このように、父母の会は学生が知性と人格を備えた人材に成長して頂くためのものです。諸先生方と手を携えてご子息の未来を実りあるものにすべく、これからも更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

上げると共に、新潟産業大学と父母の会の益々の発展と皆様方のご健康を祈っております。



(大学のマスコット: サンチャッカ丸君)

より良い大学を目指して

新潟産業大学 学長 北原 保雄



学長に就任してから2年近くになり、ようやく本学の管理運営、経営の方法にも慣れてきました。それとともに、私の経験してきたことや考えていることと違うところも明確になってきました。そういうところを改善改革して本学をもっともつと良い大学にし、皆様のご期待に応えたいと思っております。

ほとんどの地方私立大学は学生減に悩んでいます。大学進学適齢期の若者の多くが大都會の大学に進学してしまうからです。本学も例外ではありません。何とかしなければなりません。そこで、昨年11月に本学の公立大学法人化についての要望書を柏崎市長に提出しました。公立大学法人化すれば、設置形態もしっかりし、授業料も安くなって、入学志望者が増加するはずで、学生数が増加すれば、大学改革も一層進みます。

昨年末新潟支部総会でご挨拶をし、懇親会にも出席させていただきましたが、多くの皆様が大学を大切に思ってくださっていることを強く感じ、ありがたいことだと思えました。

大学は、人間力を養うところだと考えています。授業の成績も大切ですが、それ以上に生きる力、創造する力、人間としての力を身に付けることが重要です。自立した自律心のある人間を育てることが肝要です。本学ではそういう方針の

と教育を進めておりますが、保護者の皆様におかれましても、どうか、目を離さず、干渉しすぎず、見守ってあげていただきたいと思っております。個人にはそれぞれの長所、特長があります。それを伸ばしてやりましょう。他人と比較することはありません。少しずつでも自己を成長させ、自己新記録を更新していくことです。教職員一同頑張りますので、よろしくご支援くださいますようお願いいたします。

『父母の会』年間事業

〈年間スケジュール〉

- 5月 前年度会計監査
 - 6月 個別面談会
 - 役員会・総会・講演会の開催
 - 9月～12月 各支部総会開催
 - 11月 文化講演会 (学園祭開催に合わせて実施)
 - 2月 会報発行
 - 3月 役員会
- 〈役員募集中!〉

平成27年度の「父母の会」役員を募集しております。大学のこと、学生たちのことを一緒に考え活動してみませんか。我こそはという方は、父母の会事務局(0257-2416402)までご連絡ください。

父母の声

春を待つ

父母の会幹事長・新潟支部長 山田和枝



寒さ厳しい季節がやってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今シーズンには、昨年未だ大雪が降り、猛吹雪をすずに体験してしまいました。正月を前に雪おろしをする映像も見られました。こんな時は、家の中でこたつに入り、みかんを食べながらテレビを観るのに限ります。といつても今では食事が終われば各々の部屋に行ってしまう、家族団らん時間はなくなつて、もはやこたつを出す機会も失ってしまいました。こたつが恋しい今日この頃です。さて、産大父母の会についてお話ししますと、子供を二人通わせて頂きましたが、一人目が入学する際この会を知りました。小中高としっかり役員を務めてきたので、まさかこどもかという思いでした。そして今年度から、会長の東山さんより幹事長を引き継いだ矢先、新潟支部長が急きょ退任する事になり、兼任する形で今に至ります。何もわからないまま、皆様に助けられて一年間やらせていただきました。

一番の思い出は、文化講演会です。紅葉祭に合わせて行われた当日は、沢山の方に来ていただきました。講師の矢島晶子さんは、子供が大好きな「しんのすけ」の声を担当していて、柏崎出身ですが小さい頃までしか住んでいなかったとの事でしたが、お話しの中に柏崎弁が聞かれ、またCMで流れているしんちゃんの生歌が聞けるなど、ファンにはたまらないひと時となりました。そして秋の新潟支部総会もどこおりになく終了することができ、ほっとしているところでも、これで私も卒業させて頂きました。これからも産大父母の会を盛り上げていただけますよう、お願いいたします。本当に5年間お世話になりました。

学生が地域の力に

新潟産業大学 学生委員長 梅比良眞史



父母の会のみならずの多大なるご支援、ご協力に、まず感謝申し上げます。今年もまた大学では、いつものように授業がなされ、さまざまな行事が催され、新入生は会人になる助走に入っている季節です。まさに社会に出した人もいれば、スポーツに文化活動、さらに地域活動に頑張った学生は生き生きとした姿をしています。そしてそれは卒業、就職、そして人生の大きな糧となるはずで

このように大学生活を有意義に過ごしてもらうために、口幅つたことを言うようですが、大学は万全の体制を整えたいと考えています。とくに最近では、大学と地域の共生を目指し、地域とともにある大学を標榜しています。スポーツも地域と連携しながら、よりよい成果を上げるための模索が続いています。また、日常生活の場でも、「まちかど研究室」、「地球クラブ」、「十日町コンテスタ」などをつうじて地域のみならずとの交流を学生主体で深めています。さらには、学生諸君の活動範囲は首都圏まで及び、「大学は美味しいフェア」では新宿高島屋で柏崎の、そして新潟産業大学の存在をアピールし、自分たちの力を十分発揮しています。もちろん、水球部、卓球部、ライフセイビング部、空手部、剣道部、そしてこれからはサッカー部もバスケットボール部も全国に名を轟かせてくれるでしょう。

また海外に眼を向ける新潟産業大学には無限の可能性が広がります。中国、モンゴル、台湾、韓国をはじめ多くの留学生がいます。私たちは柏崎から世界へとたえず眼を開いています。こうして学生主体の活動を見守り、大学生活のなかで起きる問題や不安についても、一年から四年までのゼミナールで学生に対応しています。カウンセラーなど精神面でバックアップ体制も整え、保護者のかたがたと協力して、学生の成長を促しつつ見守っています。新潟産業大学は学生諸君の輝かしい将来をつくるために、これからも多くのプロジェクトを仕掛けていきたいと思っております。今後も変わらず、みなさまのご理解、ご協力をぜひともお願いいたします。

預金一覧

(平成26年3月31日現在・単位：円)

種別	金額	満期日	備考
定期預金 No.2142426	350,155	平成26年 6月16日	平成26年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 No.2142429	315,064	平成26年 6月18日	平成26年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 No.2142431	295,000	平成26年 6月27日	平成26年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 No.2142430	315,064	平成26年 6月18日	平成27年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 No.2142432	290,000	平成26年 6月27日	平成27年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 No.2142433	290,000	平成26年 6月27日	平成28年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
計	1,855,283		
定期預金 No.2235327	2,018,237	平成26年 6月9日	平成6・7年度 奨学金基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.025%
定期預金 No.2235329	1,513,682	平成26年 6月9日	平成9年度 奨学金基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.025%
定期預金 No.2235330	1,513,682	平成26年 6月9日	平成10年度 奨学金基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.025%
計	5,045,601		
合計	6,900,884		
決済用 普通預金	871,526		北越銀行柏崎支店 No.458160
	2,480,000		No.541482
計	3,351,526		特別会計奨学貸付
決済用 普通預金	1,170,000		No.482517 入会者会費振込用

父母の会会計

(単位：円)

収入の部				摘要
科目	25年度予算額	25年度決算額	比較増減	
会費(新入生のみ)	1,170,000	1,170,000	0	20,000円×58名=1,160,000円(1年生) 10,000円×1名= 10,000円(編入生)
当年度事業積立金繰入	2,623,786	2,623,786	0	過年度に徴収した平成25年度事業積立金取崩分
雑収入	1,000	539	461	預金利息
前年度繰越金	580,828	580,828	0	
計	4,375,614	4,375,153	461	
支出の部				摘要
科目	25年度予算額	25年度決算額	比較増減	
事務費	10,000	6,495	3,505	通信費・振込手数料他
役員会開催費	180,000	65,244	114,756	通信費・交通費・昼食代他
総会開催費	280,000	103,882	176,118	通信費・印刷費・懇親会費他
支部活動補助費	700,000	498,637	201,363	北海道東北支部 70,360円 新潟支部 203,576円 関東支部 40,578円 北陸支部 840円 中部東海支部 48,406円 近畿以西支部 78,480円 教職員派遣交通費 56,397円
事業開催運営費	300,000	209,274	90,726	文化講演会開催経費
課外活動補助費	1,350,000	1,350,000	0	遠征・強化合宿等、学生会への補助
会報発行費	40,000	25,095	14,905	印刷費・発送費用
新入生合同歓迎会協賛金	40,000	40,000	0	柏崎市・商工会議所・各団体・市民が主催
卒業行事関係補助費	250,000	250,000	0	卒業パーティ経費
福利厚生費	50,000	0	50,000	慶弔費
奨学事業費	80,000	80,000	0	留学生を支援する会への寄附金
26年度事業積立金	295,000	295,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
27年度事業積立金	290,000	290,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
28年度事業積立金	290,000	290,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
予備費	220,614	0	220,614	
次年度繰越	0	871,526	△ 871,526	
計	4,375,614	4,375,153	461	

Information

経済的理由により修学困難な学生を支援する 学費軽減制度について

新潟産業大学では、経済的理由により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を導入しています。詳細は、以下の通りです。ご不明な点は、学生課(0257-24-6402)までお問い合わせください。

- 1. 対象者 本学の学部学生で、学費負担者の年間所得が次表に該当する者(留学生を除く)。

Table with 3 columns: 通学形態, 自宅通学, 自宅外通学. Rows: 年間所得の上限, 300万円程度, 350万円程度

- 2. 学費軽減の期間 平成27年度(1カ年)
3. 学費軽減の範囲 授業料に限り2分の1を上限として軽減します。
4. 申請手続き方法 学生課にある所定の用紙に必要事項を記載するとともに必要書類(授業料減免申請書、家庭状況調査書、市区町村発行のH25年度所得・課税証明書、H26年度の所得金額を証明できるもの、他生活の困窮を証明できるものなど。詳しくは、申請書類に記載)を用意し、学生課に締切日までに提出してください。単年度申請であるため、今年度の採用者についても改めて申請する必要があります。
5. 申請書類提出期間 平成27年1月9日(金)~2月10日(火)
6. 審査について 学内において、提出された書類を基に、学費負担者および家計を一にする家族の年間所得、家族構成、奨学金受給の状況、修学意欲等を総合的に審査し、採否を決定します。
7. 通知について 学費軽減の採否については、3月13日(金)までに保護者宛に文書で通知します。

父母の会奨学貸付制度について

父母の会では、会員が経済的に困窮し緊急に援助を必要とする場合について、以下の通り無利子で資金を貸し付ける制度を設けています。貸与を受けられる範囲は、新潟産業大学父母の会会員の子弟に限ります。

詳しくは、父母の会事務局(0257-24-6402)までお問い合わせください。

- 1. 貸付限度額：学納金額の限度内とします。但し、貸付金は学納金に充当しなければなりません。
2. 返 還：貸付年度内に返還しなければなりません。
3. 提 出 書 類：学生課にある所定の用紙に必要事項を記入し、連帯保証人の身分を証明する書類を添え、父母の会会長まで提出しなければなりません。
4. 決 定：選考委員会で審査し、父母の会会長が決定します。
5. そ の 他：学籍を離れる場合は、直ちに全額を返還しなければなりません。

お知らせ

父母の会から大学へ『製氷機』を寄贈しました。

平成26年8月本学体育館男子更衣室内に設置。

製氷機は学生が体育授業や部活動などで故障した場合のアイシングや熱中症予防等のために活用されます。



始めたのは、3年の12月に学内で行われた就職セミナーに参加してからです。私以外にも多くの学生がこのセミナーに参加していたので、就職活動の現状を聞きました。私が想像していたよりも、皆早くから就職活動を始めていて、私は焦り、そこから毎日就職のことを考えて過していました。
まず、就活サイトをこまめにチェックし、興味がある企業の情報を就職活動用ノートにメモを取りました。その中でも特に気になったのが福祉関係で、私が幼い頃から母は障がい者支援の仕事をしており、その職場に遊びに行き母の仕事を見ていました。その時から少し興味を持っていたので、高齢者支援ではなく障がい者支援の就職先を探すことに決めました。私の出身地が滋賀県というところもあり、交通費等のもも負担になるので最低でも4度の帰省で就職先を決めようと思っ情報を集めました。そして、多くの就職先候補の中から最終的に2社に絞り、企業説明会や企業見学に参加し両社から内定をいただきました。
就職活動中は本当に就きたい職や本当にやりたいことが焦り等から分からなくなり悩むことも多く、何度も家族や知人に相談してきました。特に母親のアドバイスは確実で相談して良かったと感じています。失敗したことは、就職課に相談等せず就職活動をしたことでした。もっと早くから利用していたら、面接練習や履歴書の記入等のアドバイスがもらえていたと後悔しています。また、就職活動をする前から自分自身でしっかりと将来のことを考え、学生生活を送ればこんな悩むこともなかったと感じています。
内定をいただくためには早くから考え、早くから行動することが重要です。私は全く資格を持っておらず、就職できるか心配でした。しかし、他の学生が経験していないようなことを多くしてきたことで、その経験が自信になりました。大学では水球部に所属し練習以外に市内の海岸清掃や除雪、東日本大震災のための募金等のボランティア活動を通して、その他にも東京の新宿高島屋にて「大学は美味しい!!」フェアで販売員をしました。ボランティア活動や販売員をすることで、他大学の学生や社会人の方と会話することも多くコミュニケーション能力が身に付いたと感じました。この経験が履歴書の記入や面接時の応答での強みになりました。資格取得も大切ですが、人生経験を積むことによつて自分自身では感じないような力が身につくと思います。ボランティア活動は学外清掃等、大学で行われることもあるので参加しやすいと思います。最後に、現在は、福祉関係の仕事に役立つ資格の取得や講義に打ち込んでいます。これからは1つひとつ

就職活動体験談



経済学部 文化経済学科4年 仁添 敬介 (社会福祉法人湖北会内定)



経済学部 文化経済学科4年 池田 桜子 (關ことぶき内定)

私が就職活動を本格的に始めたのは、3年の12月に学内で行われた就職セミナーに参加してからです。私以外にも多くの学生がこのセミナーに参加していたので、就職活動の現状を聞きました。私が想像していたよりも、皆早くから就職活動を始めていて、私は焦り、そこから毎日就職のことを考えて過していました。
まず、就活サイトをこまめにチェックし、興味がある企業の情報を就職活動用ノートにメモを取りました。その中でも特に気になったのが福祉関係で、私が幼い頃から母は障がい者支援の仕事をしており、その職場に遊びに行き母の仕事を見ていました。その時から少し興味を持っていたので、高齢者支援ではなく障がい者支援の就職先を探すことに決めました。私の出身地が滋賀県というところもあり、交通費等のもも負担になるので最低でも4度の帰省で就職先を決めようと思っ情報を集めました。そして、多くの就職先候補の中から最終的に2社に絞り、企業説明会や企業見学に参加し両社から内定をいただきました。
就職活動中は本当に就きたい職や本当にやりたいことが焦り等から分からなくなり悩むことも多く、何度も家族や知人に相談してきました。特に母親のアドバイスは確実で相談して良かったと感じています。失敗したことは、就職課に相談等せず就職活動をしたことでした。もっと早くから利用していたら、面接練習や履歴書の記入等のアドバイスがもらえていたと後悔しています。また、就職活動をする前から自分自身でしっかりと将来のことを考え、学生生活を送ればこんな悩むこともなかったと感じています。
内定をいただくためには早くから考え、早くから行動することが重要です。私は全く資格を持っておらず、就職できるか心配でした。しかし、他の学生が経験していないようなことを多くしてきたことで、その経験が自信になりました。大学では水球部に所属し練習以外に市内の海岸清掃や除雪、東日本大震災のための募金等のボランティア活動を通して、その他にも東京の新宿高島屋にて「大学は美味しい!!」フェアで販売員をしました。ボランティア活動や販売員をすることで、他大学の学生や社会人の方と会話することも多くコミュニケーション能力が身に付いたと感じました。この経験が履歴書の記入や面接時の応答での強みになりました。資格取得も大切ですが、人生経験を積むことによつて自分自身では感じないような力が身につくと思います。ボランティア活動は学外清掃等、大学で行われることもあるので参加しやすいと思います。最後に、現在は、福祉関係の仕事に役立つ資格の取得や講義に打ち込んでいます。これからは1つひとつ

の行動に責任感を持ちながら、日々経験し日々成長できる社会人となるよう努力していきたいと思っています。
私が就職活動を意識し始めたのが3年の秋ぐらいでした。就職情報サイトで情報を集め学内で行われた就職ガイダンスに積極的に参加しました。また、業界を絞るために家族や先輩、就職課の先生に相談ののっていただき沢山アドバイスをいただきました。
私の就職活動の軸は、地元石川県でやりがいを感じることができ、職業に就くことでした。その中で私が一番興味を持ったのがブライダル業界です。人生の門出、晴れの舞台をお手伝い出来るとても素敵な職業で、昔からの憧れでもありました。個別の会社説明会に行った際に、従業員の方から仕事に対する熱い思いや、実際にあった新郎新婦の感動的な体験談を聞くことが出来、ブライダル業界に入りたいたいという思いがより一層強くなりました。
また就職活動をスタートさせてからも部活動に力を入れていたこともあり、ほぼ毎日練習と、その空いた時間で速征費などを稼ぐためにアルバイトをして、なかなか時間をとることが難しくスケジュール調整が大変でした。地元へ帰る度に一度になるべく多くの企業をまわり、一日に2社の選考を受ける日もありました。体力には自信があまりありませんでしたが、精神面の疲労は私の想像以上のものでした。最終選考まで進んでも落ちてしまいうことが多々あり、自信がなくなったりひどく落ち込んでしまったりする時期もありました。しかし家族や友人、身近な人にたくさん支えてもらい乗り越えることが出来たと思います。
また面接では大学でどのような勉強をしているかということや、何を頑張ってきたか、どの様なことを体験してきたかというのを聞かれる事が多かったです。私の場合は水球部に所属し頑張ってきたことについて話をしました。部活動を通して心身を鍛えられることだけでなく、人間関係などを学ぶことも多く自分自身の強みとなりました。
一方で、私は当初就職活動に対して悩みや不安からあまり良いイメージを持っていませんでしたが、こんなにも真剣に自分の将来について深く考え、自分自身のことを見つめなおす絶好の機会となりました。また就職活動を通して様々な企業の実情を知ることが出来、普段なかなか関わることの出来ない人たちの出会いもあり、とても良い経験になりました。
そして、就職活動を成功させるためには早めの行動がとて重要で、選考が始まるとエントリーシートや面接練習に時間がかかってしまつたため、業界研究や筆記試験対策など早い段階から取り組んでおくとう良いでしょう。
最後にお伝えしたいことは、自ら行動を起こせば周りには手助けをしてくださる方が多くいます。大学生活で様々なことに挑戦し就職活動に大いに役に立てて欲しいと思います。

産大トピックス

「トオコン(十日町市)ビジネスコンテスト」で3位入賞

平成26年12月20日(土)、十日町市のクロスステンで、「トオコンseason5」の本選会が行われ、新潟と東京の予選会を勝ち抜いた6大学が出場するなか、金ゼミが3位入賞を果たしました。このビジネスコンテストは、5年前から毎年、十日町市が地元産業界の振興と若い人達を呼び込もうと、県内外の大学生を対象にビジネスアイデアを募集し行われているもの。今回出場した金ゼミの企画は、「1999年「国宝」に指定された「火焰型縄文土器(十日町市笹山遺跡で出土)をモチーフにしたどったブルボン製「クッキー」と十日町で製造された「ハロンカチ」や「ハーブティ」を組み合わせたセット商品を売り出す」とするもので、2020年に開催する東京オリンピック・パラリンピックの聖火台にその縄文土器が採用され十日町市が全国に知れ渡ることを願って企画されました。



トオコン本選会

「ライフセイビング部」世界大会で入賞

平成26年9月14日から23日の間、フランス・モンペリエで開催された「ライフセイビング世界大会」(FIS 2014(U18))において、ユース日本代表の1年 高橋志穂さんが、種目「オーシャン・ウーマンリレー」で8位入賞を果たしました。また12月6日から、静岡県浜松市総合水泳場で行われた「第6回全日本学生セイビング・プール競技選手権大会」(全37団体、712名出場)において高橋志穂さんが「200m女子スーパードライフセイバー」で5位入賞を、ペア種目「女子ライン・スロー」で高橋志穂さんと1年伊藤さゆみさんが6位入賞を取りました。また部長の2年永田賢哉さんは、「BLSアセスメント」でA判定でした。平成27年度も大いに活躍が期待できます。



【空手道部、北信越大会連覇】

平成26年5月18日、石川県の金沢大学で行われた「第40回北信越学生空手道選手権大会」において、2年久我優希さんが女子組の部で昨年に引き続き優勝し、また



久我さん(左)、山田由加里さん(右) 1年

11月30日、富山市で行われた「第22回北信越学生空手道大会新人戦」においても優勝しました。今年度も空手道部を牽引し北信越大会で見事個人戦4連覇を続けている久我さんですが、来年度はさらに高みを目指して新たなステージでの活躍を期待しています。

【水球部、インカレ出場】

平成26年7月12日から、愛知県口輪運動公園室内プールで行われた第23回中部学生水球選手権大会において、男子水球部がリーグ戦4戦全勝で見事「連覇」しました。何と22年連続となる第90回日本学生選手権水球競技大会水球競技(インカレ)に出場、1回戦早稲田大学と対戦し敗戦。また女子水球部は、8月、第90回日本選手権水球競技大会水球競技で参加14チーム中4位となり10月の本選に進みましたが1回戦で鴨沂水球クラブに敗戦。また9月に第90回日本学生選手権水球競技大会水球競技(インカレ)で1回戦4対5の僅差でびわこスポーツ大学に敗戦、順位決定戦で大阪大学に勝利し5位となりました。来年こそ「インカレ」で上位入賞を期待しています。



【卓球部、北信越大会で上位入賞】

平成26年8月8日から長野県上田市で行われた平成26年度夏季北信越学生卓球選手権大会において、1年邱文瑜さんが女子シングルスで見事優勝、3年源通真優さんと1年宮島愛美さんが女子ダブルスで2位入賞を果たしました。また11月7日から富山県高岡市で行われた第62回

秋季北信越学生卓球選手権大会において、部長3年松島卓宏さんが男子シングルスで1位、2年宮澤僚太さんと2年高橋将知さんが男子ダブルスで見事1位となり、W優勝を果たしました。また女子では1年邱文瑜さんがシングルスで3位となり、団体戦では男女共に夏季に続き3位でした。1年を通じてチーム全員で結果を残している卓球部、いよいよ来年度は集大成となる4年生を中心に、より上位の成績を目指します。



編集後記

『新潟産業大学父母の会々報』は今回で21回目の発行(年1回発行)となります。ちょうど現在在籍している学生達が生まれた頃にこの会報がスタートしたということになります。

毎回、父母の会会長をはじめ、学長、役員等多くの方々からの寄稿と、会員のみなさまのご理解ご協力により発行できておりますこと、改めて感謝申し上げます。

また、掲載内容につきましては、保護者のみなさまが知りたい情報を掲載するよう努めており、在学生の「就職活動体験談」については特に好評いただいております。今後掲載してほしい情報やご意見等がありましたら、大学学生課までご連絡いただければと思います。

また、本学では学生のメンタルケアに力を入れておりますので、ご子息のことで何か相談したい事についても、些細なことでも構いませんので是非ともご連絡(学生課0257-2416402)いただきたいと思います。

今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。
父母の会事務局 学生課長 小越誠一